

# 地域包括支援センター部

## 平成30年度事業計画

六実六高台地域包括支援センター

明第1地域包括支援センター

### 役職・氏名

六実六高台地域包括支援センター	センター長 荒井 愛子
	介護予防支援事業所 谷川 真理子
明第1地域包括支援センター	センター長 永田 恭子
	副センター長 岩崎 徹
	介護予防支援事業所 櫻井 由里子

部 署 名	松戸市六実六高台地域包括支援センター ・ 介護予防支援事業所
事業管理者	センター長 荒井 愛子 介護予防支援事業所 管理者 谷川 真理子
担当地域	高柳・高柳新田・六実1～7丁目・六高台西・六高台1～9丁目

現状と課題	<p>改正介護保険法において「地域包括ケアシステムの深化・推進」の方向性が示され、松戸市においても、地域ケア会議の充実や生活支援体制整備事業の本格運用開始など、更なる地域包括ケアシステム推進の中核を担うことが期待されています。</p> <p>今年度より、センター内に高齢者支援連絡会事務局が設置されます。地域や関係機関とのつながりを更に強化し、六実六高台地域における地域包括ケアシステムをより充実させていくための取り組みを進める必要があります。</p>
テーマ・目標	<p>◆地域包括支援センター運営業務委託契約内容の確実な実施</p> <p>◆適正な介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援の継続</p> <p>◆職員が働きやすい職場環境づくり</p>

#### 具 体 的 計 画

1. 運営業務委託契約内容を理解したうえで、確実に実施できるよう努めます
  - ①職員一人ひとりが地域包括支援センター運営業務委託の内容を十分理解し、業務にあたります
  - ②地域団体や関係機関との連携を深め、引き続き地域包括ケアシステムの構築を推進します
  - ③委託契約内容を確実に実施するため、職員の専門性の研鑽を継続していきます
2. 適正な介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援により、介護予防を推進します
  - ①事業対象者・要支援者の自立支援に向け法令・通知等を遵守し、多様なサービスの活用をしながら、適正なケアマネジメントに努めます
  - ②業務委託時にも適正にケアマネジメントが行われるよう、情報共有・連携をはかります
3. 職員が働きやすい職場環境をつくります
  - ①職員間のコミュニケーションを深め、互いに協力しあえる職場にしていきます
  - ②業務の平準化を意識し、効率的な業務分担に努めます
  - ③全職員が有給休暇を計画的に取得できる体制づくりを目指します
4. その他
  - ①六実六高台高齢者支援相談員会事務局の担当職員や相談員との円滑な連携に努めます

部署名	松戸市明第Ⅰ地域包括支援センター ・ 介護予防支援事業所
事業管理者	センター長 永田 恭子 副センター長 岩崎 徹 介護予防事業所 管理者 櫻井 由里子
担当地域	根本・吉井町・小根本・緑が丘Ⅰ～Ⅱ丁目・松戸新田・仲井町Ⅰ～Ⅲ丁目・稔台・稔台Ⅰ～Ⅷ丁目・岩瀬・野菊野・胡録台

現状と課題	<p>地域包括ケアシステム深化・推進に向けて、介護予防（運動・認知症）教室を通じ自主的活動のサポートを行っていますが、未だ地域に浸透していない活動になっています。この活動を推進し、活動拠点づくりを行っていきます</p> <p>また、新たな職員体制の元「松戸市委託契約書（仕様書）」に添った事業を確実に行っていけるよう、センター職員内の業務・担当ケースを共有化し「継続性」を持ちながら運営を行っていきます</p>
テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自主的グループ活動のサポートを行う。</li> <li>◆ 介護予防教室・認知症予防教室参加者の継続的な評価を行う。</li> <li>◆ センター業務を職員内で共有化して、業務の負担感の軽減を行う。</li> <li>◆ 「松戸市委託計画書（仕様書）」に添った事業運営を行う。</li> </ul>

具体的計画

1. 自主グループ活動のサポートを行う
  - ①介護予防教室（運動・認知）参加者に呼びかけます
  - ②地域にウォーキングルートを作成していきます
2. 介護予防教室（運動・認知症）の参加者に評価を行います
  - ①体力測定を行い、持続的に評価を行っていきます（運動教室）
  - ②ファイブコグを使用し、持続的に評価を行っていきます（認知症予防教室）
  - ③早期発見し、適切な機関につなげていきます
3. センター内での情報共有を行います
  - ①朝礼を利用しケースの共有化を行います
  - ②支援経過をカナミックで確認する。記録方法について共有化していきます
4. 「松戸市委託契約書（仕様書）」に添った事業を行います
  - ①委託元と協同で仕様書に添った事業を確実に行っていきます
  - ②地域の独自性を発揮できるよう、センター職員同士の意見を反映させていきます
5. その他
  - ①相談業務が円滑に行われるよう相談マニュアルを見直します
  - ②適切なケアマネジメントが実施できるようケアプランの自主点検を定期的に行います
  - ③有休取得率 75%以上を目標とします

## 各事業の稼働率の目標

### 目標稼働率・人数

事業	定員	目標稼働率	目標人数
特別養護老人ホーム従来型	90	97.5%	87.85人
特別養護老人ホームユニット型	60	97.5%	58.5人
ショートステイ	20	95.0%	19人
デイサービス	35	85.0%	29.75人
認知症対応型デイサービス メル・グラン	12	85.0%	10.2人
ココからスタジオ	12	25.0%	3人
ホームヘルプサービス	—	—	契約60人
サ高住 エミシア松戸六実	26	92.0%	24人
居宅介護支援事業所松寿園	—	—	37人(月)
ケアプランセンター六実	—	—	37人(月)
介護予防支援事業所(六実・六高台)	—	—	100人(月)
介護予防支援事業所(明第1)	—	—	120人(月)

# 公益的取組み

## 平成30年度事業計画

認知症カフェ カフェ・ド・オランジュ松寿園

夕食サービス

パートナー講座

あんしん電話

クールオアシス

無料貸し出し

### 役職・氏名

法人本部 地域福祉サービス部	部長 正田 貴之
施設サービス部	特養施設長 齋藤 直人・平居 昭範
サテライトサービス部	部長 小山 日愛
地域包括支援センター	センター長 荒井 愛子・永田 恭子
法人本部事務局	局長 堂前 恵美子 局長補佐 正田 文乃

取組み	認知症カフェ カフェ・ド・オランジュ松寿園
担当	運営プロジェクトチーム（認知症デイ・特養・包括等）
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認知症になっても住み慣れた街や家で住み続けられるような地域づくりを支援する（居場所づくり・社会的孤立感の軽減・ピアカウンセリング・情報収集・相談の場等）</li> <li>■ 社会福祉法人として、地域支援・地域貢献につながる取組みを積極的に実践する</li> <li>■ 地域の人的資源であるオレンジ協力員の方との協働の場をつくる</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開始：平成26年10月～</li> <li>■ 内容：情報提供等（20分程度）＋カフェタイム（茶菓提供）</li> <li>■ 開催日：毎月第2火曜日13:30～15:00</li> <li>■ 対象者：認知症の方、ご家族の方、地域の方</li> <li>■ 参加費：無料</li> <li>■ 場所：特別養護老人ホーム3号館エントランス</li> <li>■ その他：申込不要・送迎なし</li> <li>■ 実績：過去15回開催</li> </ul>

取組み	松寿園夕食サービス
担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人本部事務局（管理栄養士・エームサービス株式会社）</li> <li>■ デイサービス、メル・グラン、ショートステイ</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 可能な限り居宅において、食生活をとおして健康を保持され、自立した生活を営むことが出来るよう支援する</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開始：平成25年11月～</li> <li>■ 内容：松寿園厨房で調理した夕食のお弁当を提供する</li> <li>■ 対象者：松寿園デイサービス、メル・グラン、ショートステイ利用者と家族 ※家族＝調理等困難な方が対象です。家族のみの利用は行っていません</li> <li>■ 料金：400円</li> <li>■ 利用日：松寿園デイサービス、メル・グラン利用者＝利用日のみ 松寿園ショートステイ利用者＝退居日のみ</li> <li>■ 実績：月100食程度</li> </ul>

取組み	六高台福祉会パートナー講座
担当	運営プロジェクトチーム（研修委員会・特養・デイ等）
目的	六高台福祉会が行っている事業や職員が有する知識・技能等の専門性を地域の皆様にお伝え（講義・演習）することで、地域福祉（自助・互助・共助）に関して理解と関心を深めていただけるよう行っている無料出張型サービスです
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開始：平成29年度～</li> <li>■ 内容：下表メニューの中から選んでいただき、ご希望の日、ご希望の場所へ法人職員を講師として派遣いたします</li> <li>■ 開催日：予約制</li> <li>■ 時間：30分～1時間程度。</li> <li>■ 対象者：おおむね10人以上で集まることができる団体、グループ等</li> <li>■ 費用：無料</li> <li>■ 場所：地域の皆さんの主催する催しに、職員が講師として伺います</li> </ul>

	講座名	内容	種別	担当
1	高齢者の生活を支える介護保険制度について	介護保険制度の概要を分かりやすく解説します	制度	地域包括支援センター
2	介護施設の種類とその機能	様々な介護施設について種別ごとに役割と機能を解説します	制度	地域包括支援センター
3	介護実践塾 ～家庭介護における安全な技術～	安全で安楽な介護が家庭の中でも行われるよう、ケア（食事・移乗・排泄等）におけるポイントをお伝えします。	介護	特別養護老人ホーム
4	福祉用具の種類と使い方	快適で安全な福祉用具を適切に使用することで、要介護者と介護者の生活がより快適になるよう支援します。	介護	特別養護老人ホーム
5	高齢者の疾病と薬のはなし	加齢に伴い注意する疾病と薬のはなしをします。	介護	特別養護老人ホーム
6	認知症予防のおはなしと脳トレーニング	認知症予防に効果的な脳の活性化プログラムを楽しく行います。	認知症	デイサービス
7	認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を養成します	認知症	特養・地域包括支援センター
8	健康体操～うんどうの習慣化の支援～	健康寿命の延長が図れますよう、うんどうの習慣化が図れますよう、プログラムを体験していただきます。	運動	特別養護老人ホーム
9	食事が支える暮らし	栄養状態の維持は、在宅生活の継続のポイントです。食事の重要性と美味しく摂取できるポイントをお伝えします。	栄養	特別養護老人ホーム
10	高齢者の料理教室	高齢者の方が安全に美味しく食事を食べて頂くための調理工夫をお伝えします。	栄養	特別養護老人ホーム
11	感染症・食中毒の予防対策について	インフルエンザやノロウイルスなど感染症の発症の予防や発症時の対応について解説します。	健康	特別養護老人ホーム
12	熱中症の予防対策について	脱水予防を図ることは、認知症の予防の観点でも大切です。水分摂取の重要性を学びます。	健康	特別養護老人ホーム

<p>取組み</p>	<p>あんしん電話</p>
<p>担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人本部事務局</li> <li>■ 特別養護老人ホームサービス調整担当課（電話確認）</li> <li>■ 六実六高台地域包括支援センター（訪問）</li> <li>■ 実施主体：関係4団体             <ul style="list-style-type: none"> <li>六実六高台地区町会・自治会連合</li> <li>六実六高台地区高齢者支援相談員会</li> <li>六実地区民生委員児童委員協議会</li> <li>六実六高台地区社会福祉協議会</li> </ul> </li> <li>■ 協力：六高台内科胃腸科クリニック</li> </ul>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 暮らしの安心から期待される QOL の向上。居宅限界点の向上への期待</li> <li>■ 地域関係団体とのネットワークを構築するための具体的取組みとなる</li> <li>■ 地域関係団体の活動が活性化されることで、地域における「自助・互助・共助」の組み合わせによる自主的地域包括ケアの活動を推進していく具体策となり得る</li> <li>■ 事業経費が低廉であること。利用者負担がないことから、社会福祉法人が取り組むべき活動としての使命と合致すること</li> </ul>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開始：平成 25 年 10 月～</li> <li>■ 対象者：六実六高台地区在住の 65 歳以上の高齢者のいる世帯 但し、「単独世帯」又は「高齢者のみの世帯」</li> <li>■ 利用料：無料</li> <li>■ 内容：             <p>ご利用者のご自宅のお電話（携帯可）に 1 週間に 1 回（ご希望の日時）、安否確認のお電話を差し上げます（自動音声）</p> <p>お電話の内容は・・・（機械録音された定型文です）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆「お元気でいらっしゃいますか？」</li> <li>☆「こちらは、松寿園あんしん電話です」</li> <li>☆お元気な方は、*を押しその後に 1 番を押してください</li> <li>☆連絡が必要な方は、*を押しその後に 2 番を押してください</li> <li>☆体調がすぐれない方は、*を押しその後に 3 番を押してください</li> </ul> <p>「* 2 又は * 3 を押された方」、「2 日連続で電話での応答が確認できない」方は、松寿園より直接連絡し、状況確認を行います</p> <p>訪問等が必要と思われる場合は、地域ご担当の支援相談員・民生児童委員の方等にご連絡し、実際に安否確認等をおこなう</p> </li> </ul>



取組み	熱中症予防休憩所（クールオアシス松寿園）
担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人本部事務局</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の方の熱中症を予防する</li> <li>■ ご面会のお客様に休憩場所を提供する</li> <li>■ 施設に気軽に入ってもらえる仕掛けとする</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開始：平成 27 年夏季～</li> <li>■ 内容：冷たい水・お茶の提供、涼しい場所の提供 熱中症予防のための情報提供等</li> <li>■ 開放日：毎年 7 月～9 月</li> <li>■ 対象者：どなたでも</li> <li>■ 料金：無料</li> </ul>

取組み	会議室・車いすなどの無料貸し出し
担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人本部事務局・特別養護老人ホーム・居宅介護支援事業所</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設設備・備品等を地域に開放・貸し出しすることにより、地域との交流促進及び在宅生活の支援をおこなう</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内容：会議室の貸出し、車いすの貸し出し</li> <li>■ 対象者：どなたでも</li> <li>■ 料金：無料</li> <li>■ その他：予約制</li> </ul>

## 6. その他

### 六高台福社会の歩み

昭和 61 年 9 月	社会福祉法人六高台福社会設立認可
昭和 62 年 4 月	特別養護老人ホーム松寿園 50 床開設、ショートステイ事業 4 床開設
昭和 62 年 6 月	デイサービスセンター松寿園開設（松戸市初）
平成 3 年 4 月	特別養護老人ホーム 50 床／ショートステイ 16 床増床 （計：特養 100 床・ショートステイ 20 床）
平成 10 年 6 月	五香六実地区在宅介護支援センター受託
平成 11 年 6 月	訪問介護事業所松寿園開設
平成 12 年 4 月	居宅介護支援事業所松寿園開設
平成 14 年 2 月	五香六実地区高齢者支援連絡会事務局受託
平成 18 年 4 月	介護予防事業開設（デイ・ヘルプ・ショート）
平成 18 年 8 月	高齢者うんどう教室スタート・・・20 周年記念事業
平成 19 年 4 月	常盤平地区地域包括支援センター受託／介護予防支援事業所指定
平成 20 年 7 月	SS フロア改修／DS 一部改修
平成 22 年 7 月	ケアプランセンター六実開設 ホームヘルプサービス六実移設（名称変更）
平成 24 年 3 月	認知症対応型デイサービスメル・グラン開設（地域密着型サービス）
平成 24 年 4 月	特別養護老人ホーム松寿園アネックス 60 床開設 特別養護老人ホーム松寿園 1 号館全面改修工事 （多床室 10 床の個室転換含む）（計：多床室 90 床、個室 60 床）
平成 25 年 10 月	六実六高台地域包括支援センター受託／介護予防支援事業所指定 明第 1 地域包括支援センター受託／介護予防支援事業所指定 *H25.9.30 常盤平地域包括支援センター受託終了 *六実六高台・五香六実地区高齢者支援連絡会事務局受託修了 あんしん電話サポートスタート
平成 25 年 11 月	夕食サービススタート
平成 26 年 10 月	カフェ・ド・オレンジ松寿園開店（認知症カフェ）
平成 27 年 9 月	サービス付き高齢者向け住宅 松寿園エミシア松戸六実開設
平成 27 年 10 月	通所型サービス C 松寿園ココからスタジオ開設
平成 28 年 9 月	法人設立 30 周年
平成 29 年 4 月	松寿園事業開設 30 周年
平成 29 年 5 月	30 周年記念誌発刊 「ありがとう」の軌跡～30 年のありがとう！これからもみんなの笑顔のために～
平成 30 年 4 月	六実六高台地区高齢者支援連絡会事務局受託再開

## 理事会・評議員会スケジュール

開催月（予定）	評議員会/理事会	主要議題（予定）	備考
平成30年5月	理事会	H29年度決算・H29年度事業報告 監事監査報告・社会福祉充実計画 業務執行の状況報告等	監事監査 報告
平成30年6月	評議員会	同上	
平成30年10月	理事会	業務執行の状況報告等	
平成31年3月	理事会	H30年度補正予算・H31年度事業計画 H31年度予算 業務執行の状況報告等	
平成31年3月	評議員会	同上	

必要に応じて臨時開催・・・定款に定める議決事項及び重要事項について評議員会、理事会を随時開催する。また、定款第11条に定める監査を行うほか、必要に応じ中間監査を行う

## 会議・委員会

### 【会議】

	会議名	頻度	対象	内容
1	全体会議	四半期	全職員	全体共有事項 研修
2	幹部会議	週1回	幹部職員	全体共有事項 全体検討事項
3	課長会議	四半期	課長職以上	課題の検討・共有・修正 研修
4	特養会議 デイ管理者会議	週1回	各リーダー	振返りと予定確認 事業 PDCA の確認
5	サービス調整担当課会議 特養各フロア会議 ショートステイ会議 デイサービス会議 メル・グラン会議 ココからスタジオ会議 エミシア会議 居宅会議 ヘルプ会議 包括会議 プリセプター会議	月1回 以上	各所属職員	現状共有 課題の抽出・検討・調整 カンファレンス 振返り、現状確認 課題の抽出と共有・検討 情報共有
6	入居判定委員会	随時	特養各職種	調査報告と判断
8	全体朝礼	毎 9:00	各部署から	スケジュール・食事の確認 朝の学び、理念の唱和
9	その他	随時	必要と思われる職員	必要と思われる事項

ゲストと職員間、職員相互の人間関係更に、各種職種間の業務を円滑にし、多職種協働の力を高める。更に合理的なサービス提供を進めるために、情報の共有並びに意見交換、検討を行い、職員一人ひとりが、事業経営に参画意識を持ったサービス提供体制を構築する

## 【委員会】

委員会名	研修委員会
目的	全職員が幅広い知識を得て更に成長することで、それぞれの専門分野はもちろんのこと、専門以外の様々な事例に対する対応力の向上を図る。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 定例研修（感染症対策、虐待防止、防災等）の他、時事等に関する内容についても企画実施する（外部講師研修含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 接遇・マナー</li> <li>5月 虐待防止</li> <li>6月 メンタルケア</li> <li>7月 脱水・熱中症予防</li> <li>8月 緊急時対応（ケガ、呼吸停止等、事例を通じた演習）</li> <li>9月 防災委員会研修</li> <li>10月 感染症対策</li> <li>11月 外部講師研修</li> <li>12月 福祉機器プロジェクト</li> </ul> </li> <li>◆ 1月 パソコン操作</li> <li>◆ 2月 第8回法人実践発表会</li> <li>◆ 3月 介護事故安全対策委員会研修</li>   <li>◆ 介護技術研修（毎月）＊シナジーワーク研修別添参照</li> <li>◆ プリセプター育成研修（毎月）＊シナジーワーク研修別添参照</li> <li>◆ 普通救命研修（日時、実施回数については六実消防署と調整し決定）</li> <li>◆ 法人実践発表会</li> <li>◆ やわらかケア・介護塾 年間2回実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 介護現場におけるロボットの活用</li> <li>3月 介護福祉士との懇談 ～介護士とは・・・～</li> </ul> </li> </ul>

## 介護技術研修及びプリセプター育成研修 計画

### 【研修委託】

シナジーワークプランニングセンター

### 【研修目的】

- ①介護技術向上と介護事故防止のために、根拠ある介護を学ぶ
- ②リーダー・サブリーダー・プリセプティナー・プリセプター・介護職員等の連携とスキル向上を図る
- ③外国人技能実習の受け入れ体勢確立

参加者	研修内容
施設長 サービス調整担当課長 リーダー サブリーダー プリセプター プリセプティナー 介護職員等	新人・介護技術向上研修 介護職員・介護技術向上研修 介護技術確認テスト リーダー（サブ）マネジメント研修 新人・プリセプター養成研修 プリセプター・フォローアップ研修 管理者マネジメント研修 専門職研修 その他

開催日	研修詳細
4月24日（火）	今年度の取り組みについて 介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド
5月22日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 3号館4階
6月26日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 2号館3階
7月24日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 3号館3階
8月28日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 2号館2階
9月25日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 3号館2階
10月23日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 1号館西
11月27日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 1号館東
12月25日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 ショートステイ
1月22日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド リーダー研修 デイサービス・メルグラン
2月26日（火）	介護技術研修・プリセプター研修・フロアラウンド
3月26日（火）	来年度に向けて、振り返りとまとめ

委員会名	食事サービス委員会
目的	<p>松寿園のサービスの“強み”のひとつに食事サービスがあげられます。「最期までお口から召し上がっていただく」経口維持に向け、食事サービスの「美味しい・安全・安心」を高いレベルで提供させていただきます。エイムサービスに委託、パートナー関係を構築し、引き続きその“強み”が維持されるようにしていき、ゲストが自分の口で美味しいご飯を食べたいという思いに対して多職種で連携して取り組みを行っていきます。</p> <p>□ゲストの方々の食事を楽しいものにしていく。→喫食率 UP→健康維持へ</p> <p>□食中毒を防止する</p>
取組み	<p>□楽しい食事の時間を提供していくために。現場スタッフと協働していく</p> <p>□栄養マネジメントの多職種協働ケアの実施を進めていく</p> <p>□新たな献立メニューを提供、行事食を月2回以上実施する</p>

月	日	内容	体験	協賛
4月	13日	やわらか食	パティン	(株)ふくなお
5月	11日	口腔のケア	口腔ケア用品	(株)和光堂
6月	8日	嚥下調整食	試食品	(株)キューピー
7月	13日	脱水症と水分管理	アクアサポート	(株)明治
8月	10日	排便について	サンファイバー	(株)太陽化学
9月	14日	口腔のケア	オーラルバランス	(株)T&K
10月	12日	栄養補助食品について	コラーゲンゼリー	(株)クリニコ
11月	9日	乳酸菌シタ株	ヤクルト	(株)ヤクルト
12月	14日	高齢者の貧血	鉄ゼリー	(株)サンプルネット
1月	11日	減塩・たんぱく調整食品について	ゆめごはん	(株)キッセイ
2月	8日	経腸栄養剤	ハイネゼリー	(株)大塚製薬工場
3月	8日	寒天の特性	かんてんぱぱ	(株)伊那食品

\*毎月、スクリーニング結果、食中毒、嚥下調整食、行事食について検討。



委員会名	防災（防犯）・非常災害対策委員会
目的	非常災害時に、ゲスト・スタッフの人命を守ることを一義的に、地域の要援護者の受け入れも積極的に行います。 地域の取り組み（防災や防犯活動）に参画し、社会福祉法人として、地域住民との互助・連携の精神のもと地域貢献に努めます。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防災意識を高めていくためのミニ研修の定期実施</li> <li>■ 火災・地震・水害・土砂災害といった、あらゆる非常災害時を想定した避難誘導訓練の定期実施</li> <li>■ 大規模災害時における連絡手段の確認・演習</li> <li>■ 火災予防を目的とした（放火含む）施設内及び施設外周辺のラウンド・環境整備</li> <li>■ 要援護者をはじめ、災害時の地域の福祉避難所としての機能整備</li> <li>■ 消防署立ち合い防災訓練の実施</li> <li>■ BCPの共有（必要に応じた計画の見直し）</li> <li>■ 防犯（公用車へのステッカー掲示やこども110番の周知）の取組み</li> </ul>

#### 【年間計画】

4月	防災研修（研修委員会合同）・新委員紹介
5月	避難訓練（地震・火災・土砂災害想定）
6月	防災倉庫整理
7月	避難訓練（地震・火災・土砂災害想定）
8月	防災研修
9月	出前講座（松戸市危機管理課講師）
10月	防災研修
11月	避難訓練（地震・火災・土砂災害想定）
12月	防災研修
1月	防災研修（トレーナー消火器演習）
2月	避難訓練（地震・火災・土砂災害想定）
3月	年度の振り返り



委員会名	介護事故安全対策・身体拘束廃止委員会
目的	<p>施設内における介護事故を未然に防止し、施設全体で、ヒヤリハット・事故報告書から事故原因の究明、再発防止に向けた取り組みを継続的に実施していく。併せて、高齢者虐待防止に関する理念啓発を行うとともに、身体拘束の廃止に向けた具体的対策に関する検討を実施します</p> <p>また、昨年同様、委員会内に「福祉機器推進プロジェクト」を定期開催し、介護ロボット（リフト・HAL）の更なる活用を通して職員の腰痛緩和及び介護負担の軽減を図っていく。併せて見守り介護ロボットを新たに導入し、ゲストの安全と介護スタッフの身体的負担の軽減に向けて取り組んでいきます</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■腰痛予防体操を継続実施（朝礼時）し、各部署、フロアにおいても実施・定着に向け支援します</li> <li>■現在使用している福祉用具の更なる活用を推進していくと共に、新たな福祉用具を選定、実施へと繋げます（国際福祉機器展等への参加）</li> <li>■ヒヤリハット・事故報告書を基に、アセスメント、モニタリングの実施体制を構築します</li> <li>■高齢者虐待防止、身体拘束廃止に関する研修、拘束「0」への具体的取り組みの提言をします（身体拘束の適正化に関する検討会を年4回実施）</li> </ul>

委員会名	保健・衛生委員会
目的	<p>衛生管理健康管理の基本となる情報収集と啓発を実施します</p> <p>ゲストの健康管理の精度を上げ、ADLとQOLのバランスを維持します</p> <p>職員の身体的精神的負荷の軽減を図るため多角的視野にたつ研修を行い、安心してケアに臨める基礎を構築します</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 感染症対策・感染症情報の収集と周知</li> <li>■ 日常的・恒常的 5S 活動と啓発</li> <li>■ 褥瘡対策等ゲストの健康管理と研修</li> <li>■ 看取り介護の取り組みと研修</li> <li>■ 医療的視点を認知した日々のケアの周知</li> <li>■ ストレスチェックの継続とチェック後フォロー</li> <li>■ 医師と連携し薬品会社・介護用品会社のスキルを活用した研修</li> </ul>

みんなの笑顔のために  
素晴らしかったと言える人生のために

～1人のゲスト、1日の暮らし、そして1つ1つの介護から～

事業

- ◇ 特別養護老人ホーム松寿園
- ◇ 特別養護老人ホーム松寿園アネックス
- ◇ 松寿園ショートステイ
- ◇ 松寿園デイサービスセンター
- ◇ 認知症対応型デイサービスメル・グラン
- ◇ 松寿園ココからスタジオ（短期集中予防サービス）
- ◇ 松寿園ホームヘルプサービス六実
- ◇ 松寿園居宅介護支援事業所
- ◇ 松寿園ケアプランセンター六実
- ◇ 松寿園エミシア松戸六実（サービス付き高齢者向け住宅）
- ◇ 六実六高台地域包括支援センター／介護予防支援事業所
- ◇ 明第1地域包括支援センター／介護予防支援事業所

〒270-2203 千葉県松戸市六高台2-19-2

☎047-386-6357 fax047-387-8720 ✉shojuen@rokkoudai.net

URL : <http://rokkoudai.net>



Shojuen